

令和3年1月25日

支 部 各位  
チーム代表者各位

青森県卓球連盟

会長 蝦名 文昭



### 第18回全国ホープス選抜卓球大会青森県予選会について（お詫び）

平素より、選手並びに関係者の皆様には当連盟の事業に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、1月24日（日）に開催した標記大会において、試合方法を変更したことにより、選手並びに関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

本県でもこの2ヶ月の間に各地で新型コロナウイルスのクラスターが認められ、開催の可否を心配する連絡が当連盟に寄せられたため、1月16日（土）に協議し、21日（木）に開催する意向であることをご連絡させていただきました。

今回の大会には200名を超えるエントリーがあり、当連盟では、大会運営のために万全を期すため各方面に協力をお願いし、必要な人員を確保していたところでございます。

しかし、大会運営に協力していただく予定だった方から、大会直前の1月22日（金）に発熱の症状がある旨の連絡をいただきました。この方のクラブには20名ほどの協力をお願いしていましたが、練習を一緒に行っていたということから、選手並びにチーム代表者、アドバイザーの皆様、競技役員等の健康、安全を考え、このクラブの皆様には、協力をお断りすることにいたしました。

その後、急遽、高体連や他のクラブなどに協力を要請しましたが、なにぶん急なことであったため、必要な人員を確保することができませんでした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、参加人数の制限や様々な感染防止対策を取りながら数大会を開催して参りました。

特に、感染防止対策のためにコートや器具の除菌、換気の作業など、これまでになかった作業が加わり、大会運営には多くの協力者が必要となりました。しかし、確保できた15名程の人員では、通常の大会運営はできないという判断に至りました。

大会の2日前ということで開催の可否について至急の判断が必要になりましたが、限られた人員では、エントリーいただいた選手の皆さんが一堂に会して試合を行うことは困難であること、また本大会の開催が予定されているため本県代表として最強のメンバーを選出する必要もあることから、やむを得なく、それぞれの学年のポイント上位8名を対象として大会を行うことにし、22日（金）にご連絡させていただきました。

この大会を目指し、日々練習に励まれてきた選手並びに関係者の皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを大変申し訳なく存じ上げますが、皆様の健康、安全を確保できる範囲で大会を開催したいと考え、このような対応になったことを何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。